

# 介護サービスの提供状況と整備方針（案）

## ①サービス提供事業者アンケート調査結果

### 調査の概要

#### 調査の目的

島田市では、このたび、高齢者の方々が安心して地域で暮らすことができるように、「島田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を見直すことになりました。

この調査は、計画の策定にあたり、本市で暮らす高齢者の方にサービスを提供されている事業者を対象に、現在のサービス提供の状況や今後のサービス提供のあり方などについて調査・把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

#### 調査の方法

- 調査対象者：市内の介護サービス事業者
- 調査方法：メール、FAXによる配布・回収
- 調査期間：2020年7月7日（火）～2020年7月22日（水）
- 配布・回収状況：

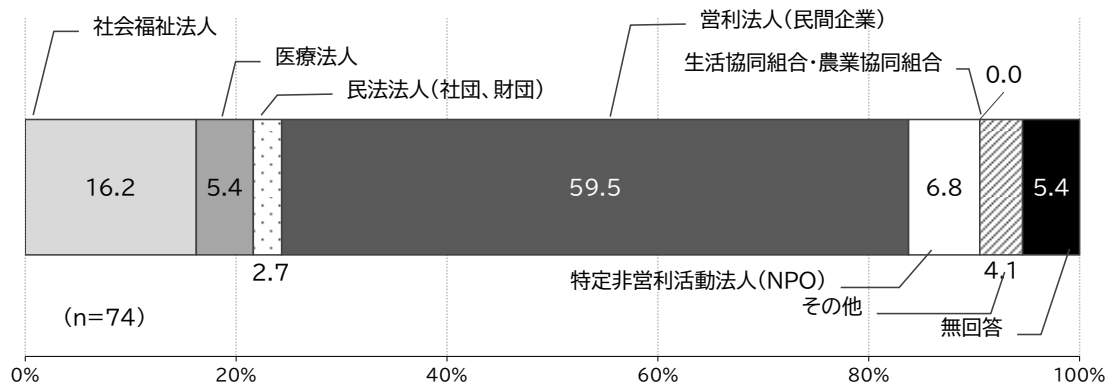
| 配布数 | 回収数 | 回収率   |
|-----|-----|-------|
| 88票 | 74票 | 84.1% |

# 集計結果

## 組織形態について

貴施設の組織形態をお答えください。

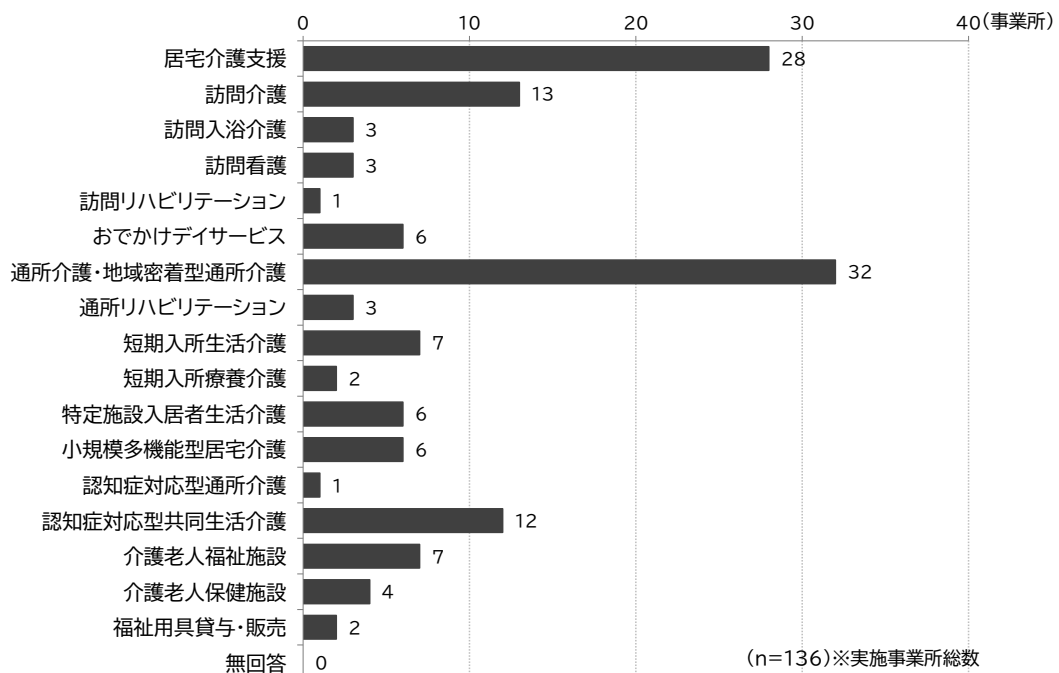
「営利法人（民間企業）」が最も多く 59.5%、次いで「社会福祉法人」が 16.2%、「特定非営利活動法人（NPO）」が 6.8%、「医療法人」が 5.4%、「その他」が 4.1%となっています。



## 提供サービス状況について

貴事業者が提供しているサービスの状況について種類ごとにお答えください。

「通所介護・地域密着型通所介護」が 32 事業所と最も多く、次いで「居宅介護支援」が 28 事業所、「訪問介護」が 13 事業所、「認知症対応型共同生活介護」が 12 事業所、「短期入所生活介護」と「介護老人福祉施設」がそれぞれ 7 事業所となっています。

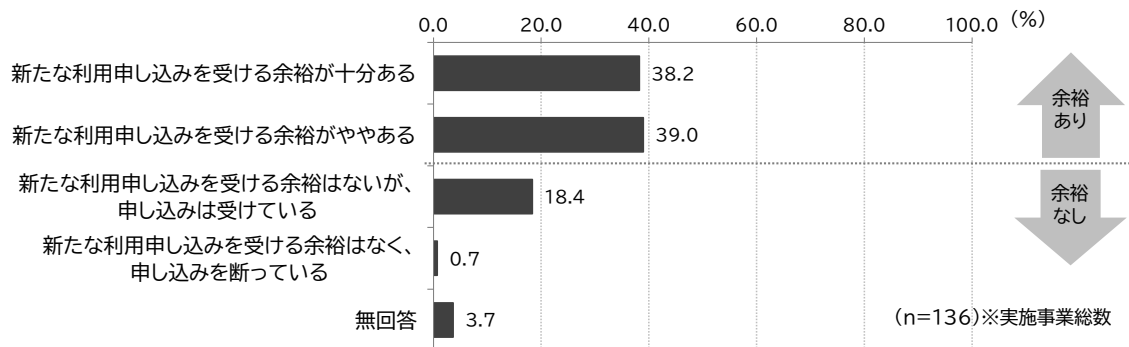


## 利用者からの利用申し込みへの対応状況

「新たな利用申し込みを受ける余裕が十分ある」と「新たな利用申し込みを受ける余裕がややある」を合わせた「余裕あり」の割合は77.2%、「新たな利用申し込みを受ける余裕はないが、申し込みは受けている」と「新たな利用申し込みを受ける余裕はなく、申し込みを断っている」を合わせた「余裕なし」の割合は19.1となっています。

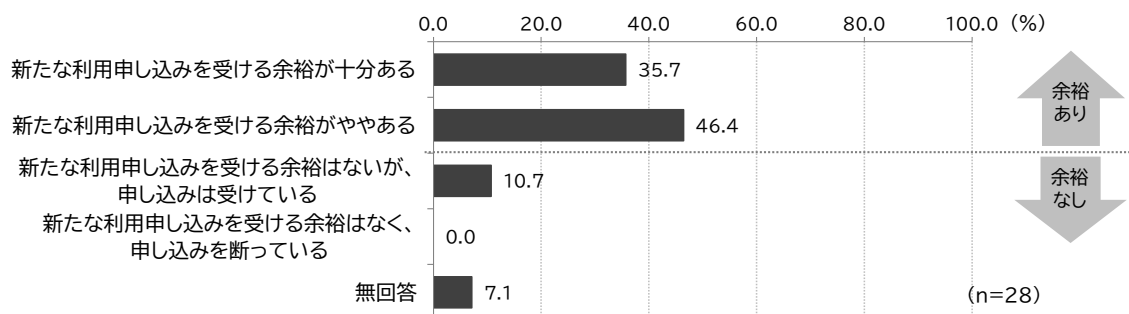
事業別にみると、「新たな利用申し込みを受ける余裕が十分ある」と「新たな利用申し込みを受ける余裕がややある」を合わせた「余裕あり」と回答している割合は高く、ほとんどの事業で利用申し込みを受ける余裕がある状態です。一方、「新たな利用申し込みを受ける余裕はないが、申し込みは受けている」と「新たな利用申し込みを受ける余裕はなく、申し込みを断っている」を合わせた「余裕なし」と回答している割合が高い事業は、「認知症対応型共同生活介護」、「介護老人福祉施設」で、いずれも「余裕あり」を上回っています。

### 【全体】

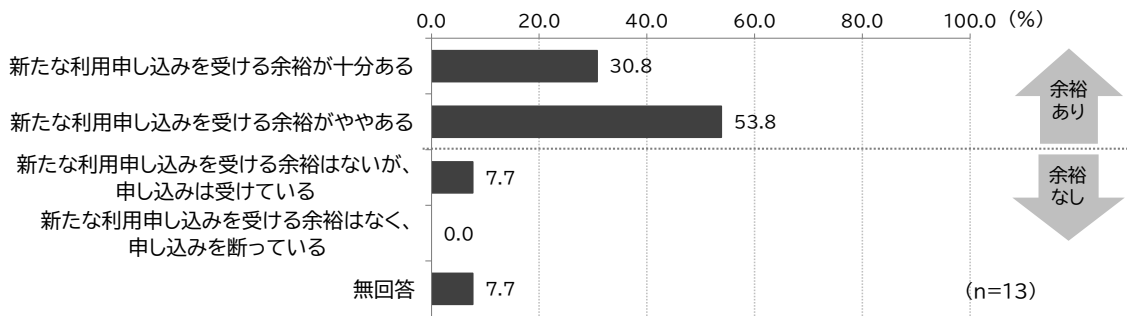


### 【事業別】

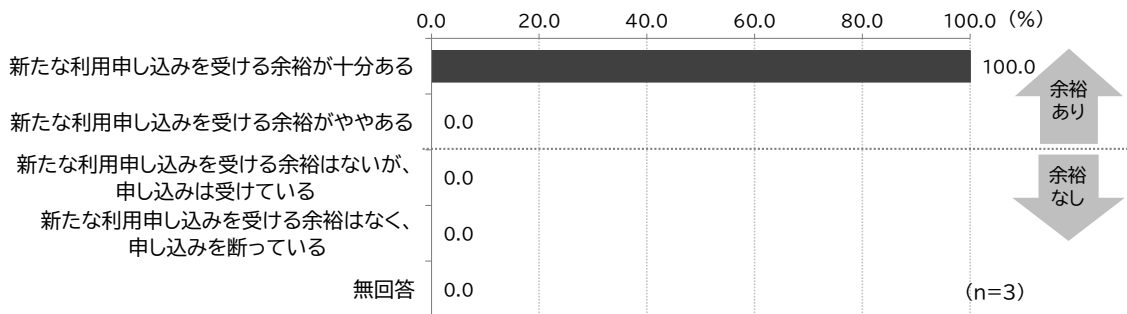
#### 1. 居宅介護支援



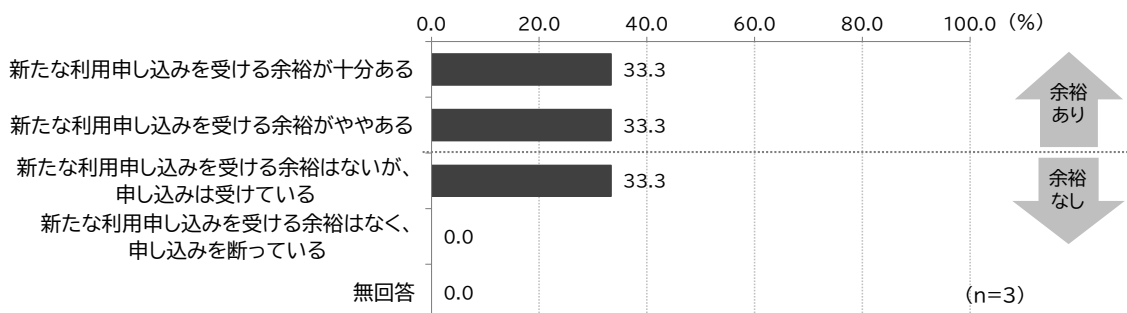
## 2. 訪問介護



## 3. 訪問入浴介護



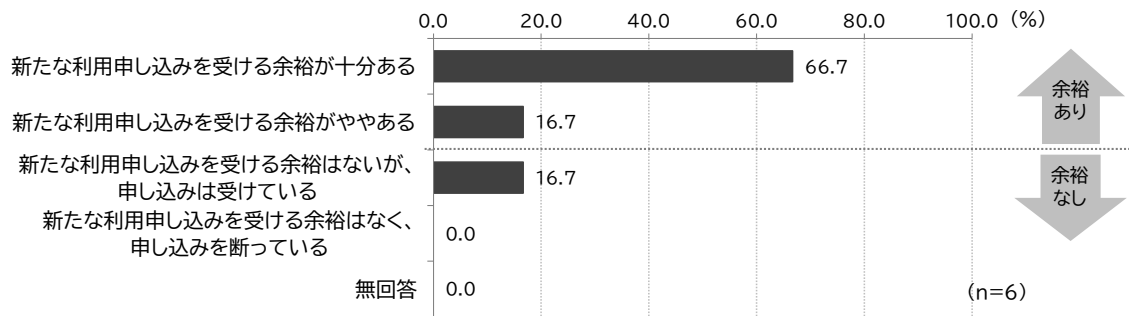
## 4. 訪問看護



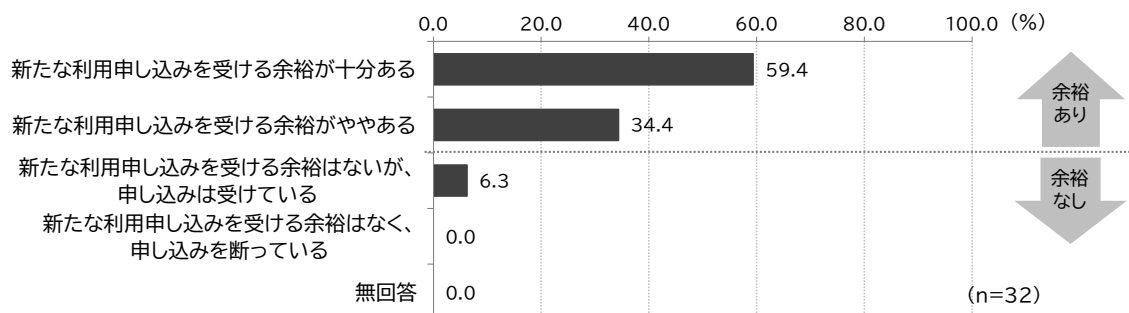
## 5. 訪問リハビリテーション



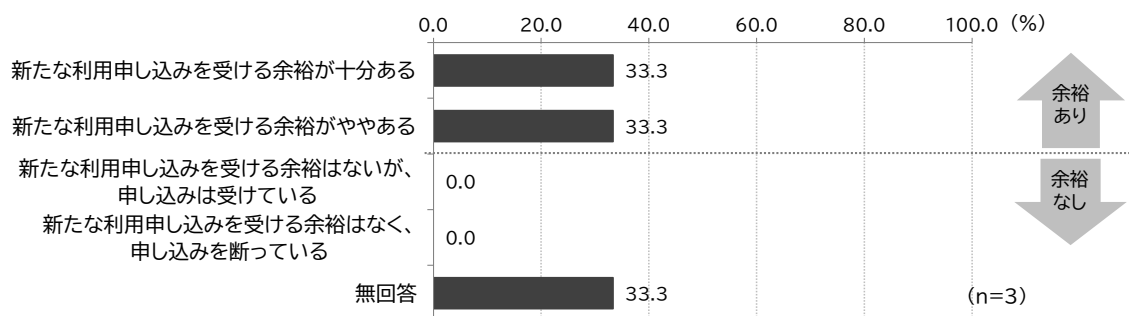
## 6. おでかけデイサービス



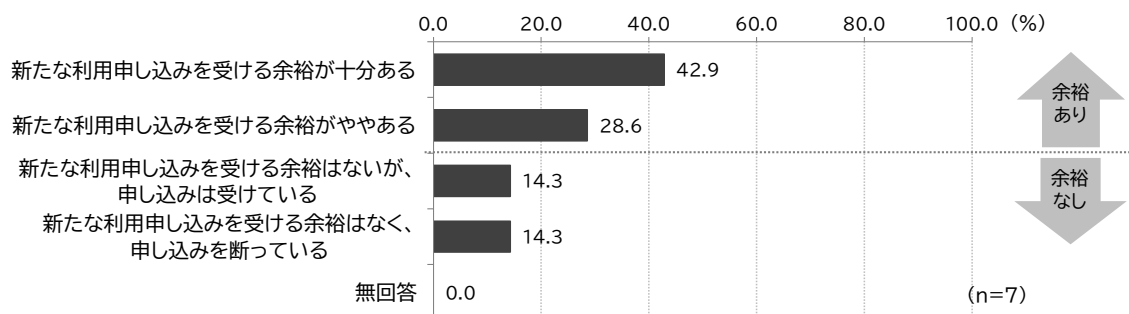
## 7. 通所介護・地域密着型通所介護



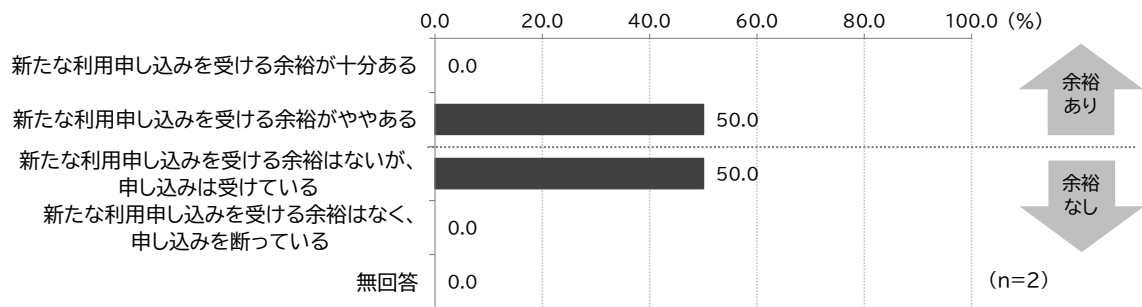
## 8. 通所リハビリテーション



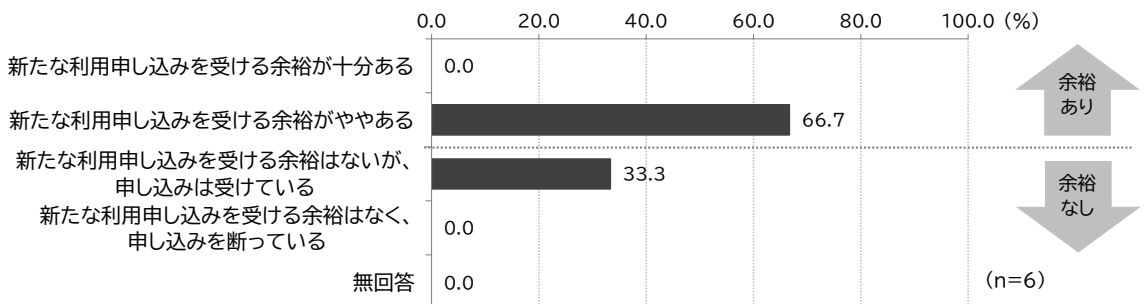
## 9. 短期入所生活介護



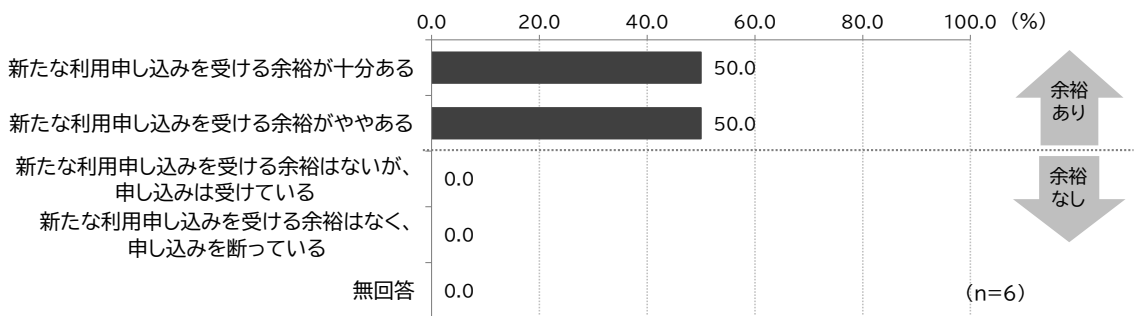
### 10. 短期入所療養介護.



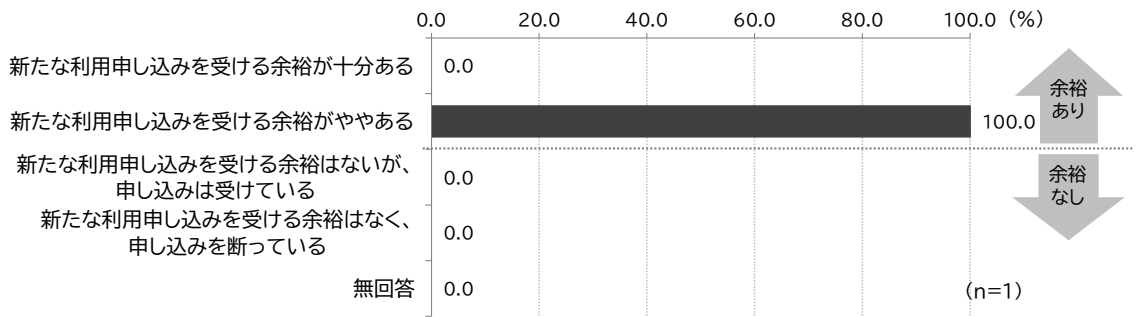
### 11. 特定施設入居者生活介護.



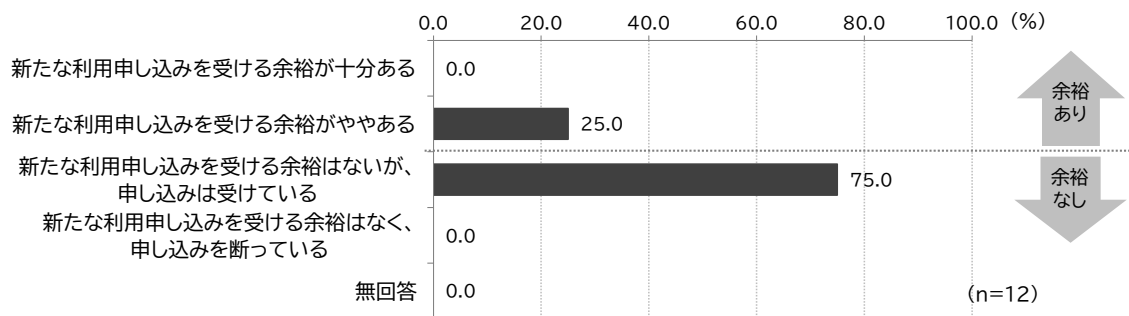
### 12. 小規模多機能型居宅介護.



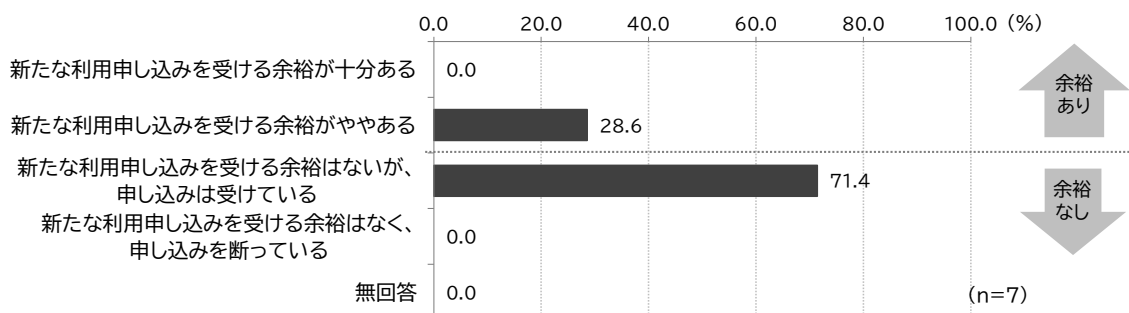
### 13. 認知症対応型通所介護



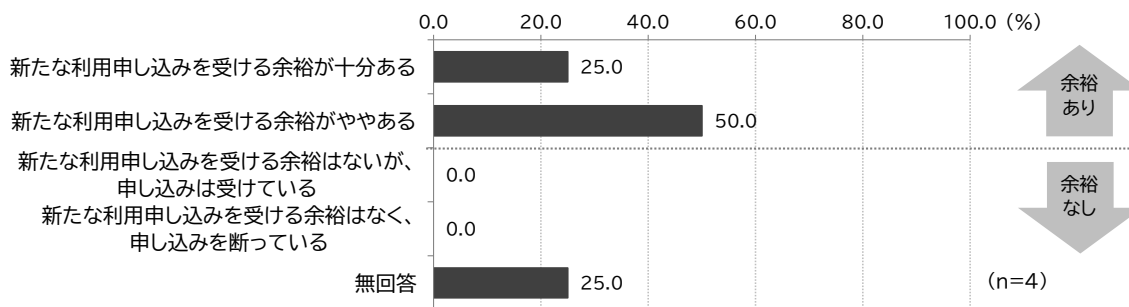
## 14. 認知症対応型共同生活介護



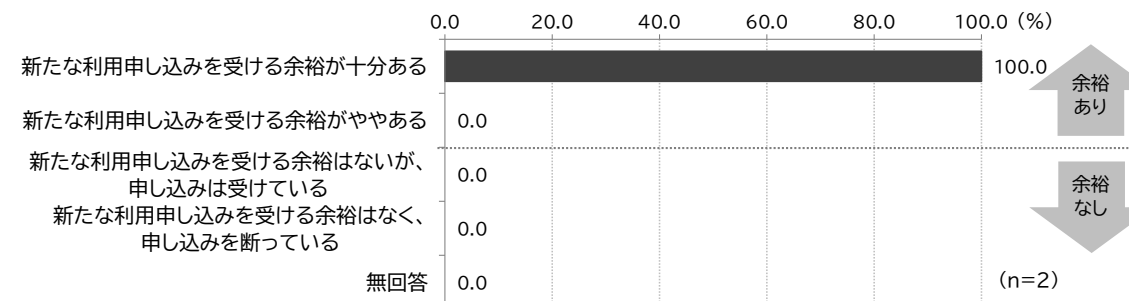
## 15. 介護老人福祉施設



## 16. 介護老人保健施設



## 17. 福祉用具貸与・販売



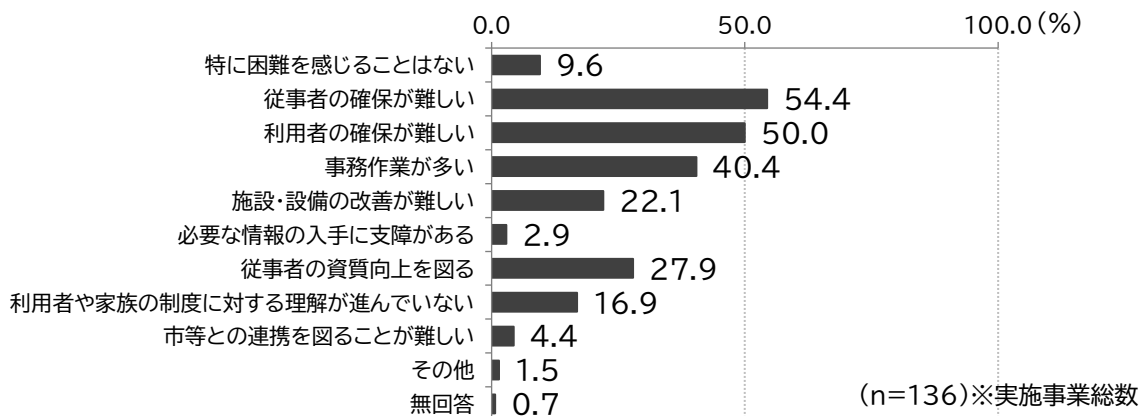
## 円滑な事業運営を進めていくうえで、現在、特に困難を感じること

「従事者の確保が難しい」が54.4%で最も多く、次いで、「利用者の確保が難しい」が50%、「事務作業が多い」が40.4%、「従事者の資質向上を図る」が27.9%となっています。

事業別の最も多い回答は以下のとおりです。

- 1 居宅介護支援 「事務作業が多い」53.6%
- 2 訪問介護 「従事者の確保が難しい」84.6%
- 3 訪問入浴介護 「従事者の確保が難しい」「利用者の確保が難しい」100%
- 4 訪問看護  
「特に困難を感じることはない」「従事者の確保が難しい」  
「事務作業が多い」「従事者の資質向上を図る」「その他」33.3%
- 5 訪問リハビリテーション 「無回答」100%
- 6 おでかけデイサービス 「利用者の確保が難しい」83.3%
- 7 通所介護・地域密着型通所介護 「利用者の確保が難しい」75%
- 8 通所リハビリテーション  
「特に困難を感じることはない」「従事者の確保が難しい」  
「利用者の確保が難しい」「事務作業が多い」「施設・設備の改善が難しい」、  
「従事者の資質向上を図る」33.3%
- 9 短期入所生活介護 「従事者の確保が難しい」85.7%
- 10 短期入所療養介護 「従事者の確保が難しい」100%
- 11 特定施設入居者生活介護 「従事者の確保が難しい」66.7%
- 12 小規模多機能型居宅介護 「従事者の確保が難しい」「利用者の確保が難しい」66.7%
- 13 認知症対応型通所介護  
「従事者の確保が難しい」「利用者の確保が難しい」  
「事務作業が多い」「従事者の資質向上を図る」100%
- 14 認知症対応型共同生活介護 「従事者の確保が難しい」66.7%
- 15 介護老人福祉施設 「従事者の確保が難しい」100%
- 16 介護老人保健施設 「従事者の確保が難しい」100%
- 17 福祉用具貸与・販売 「事務作業が多い」100%

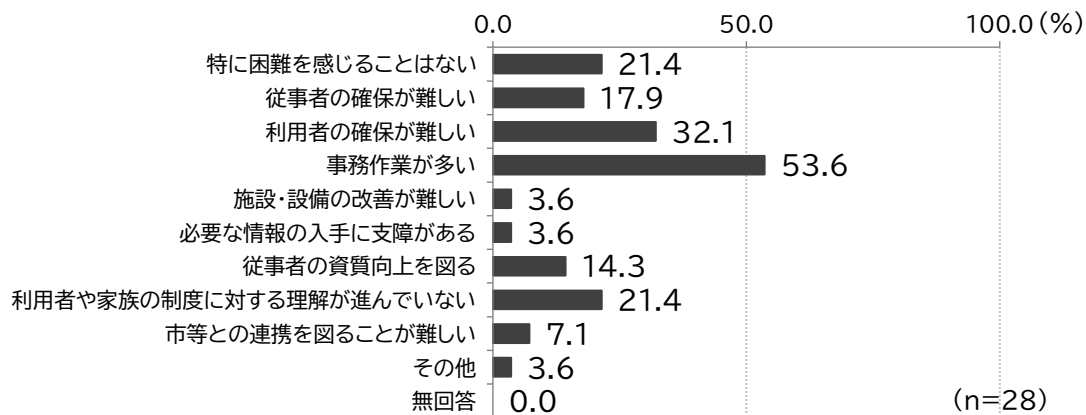
### 【全体】



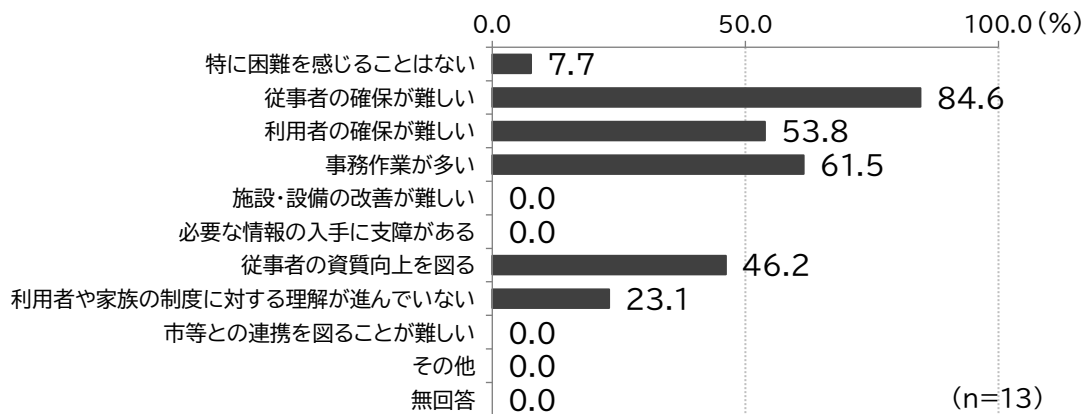


## 【事業別】

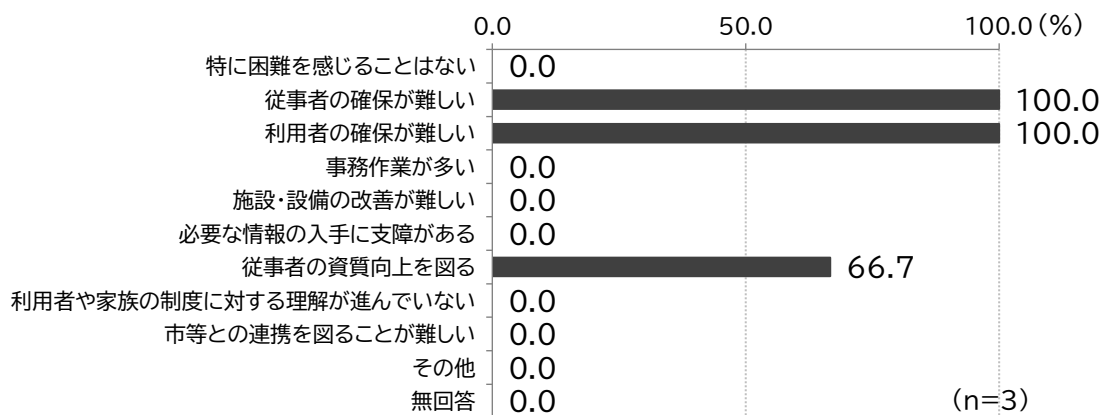
### 1. 居宅介護支援



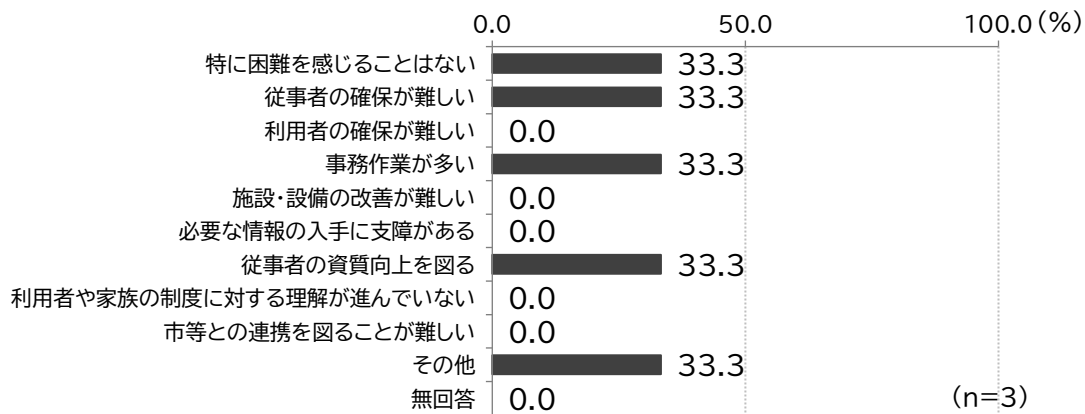
### 2. 訪問介護



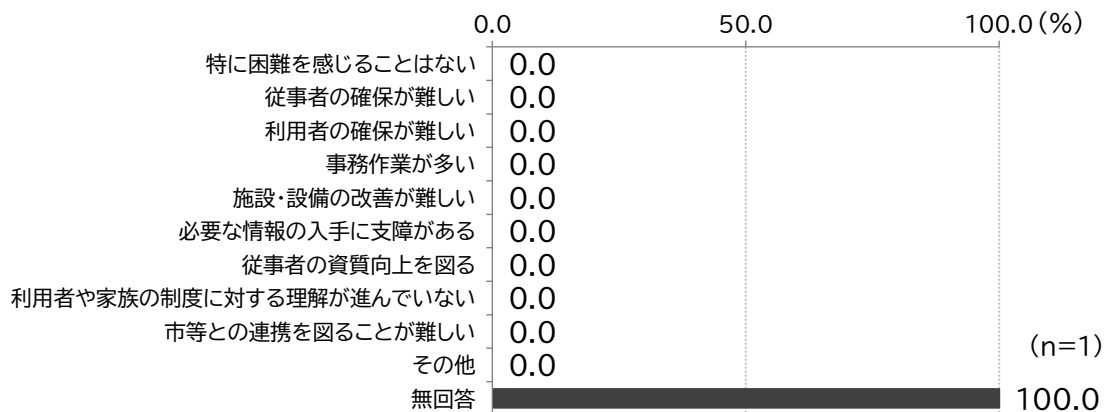
### 3. 訪問入浴介護



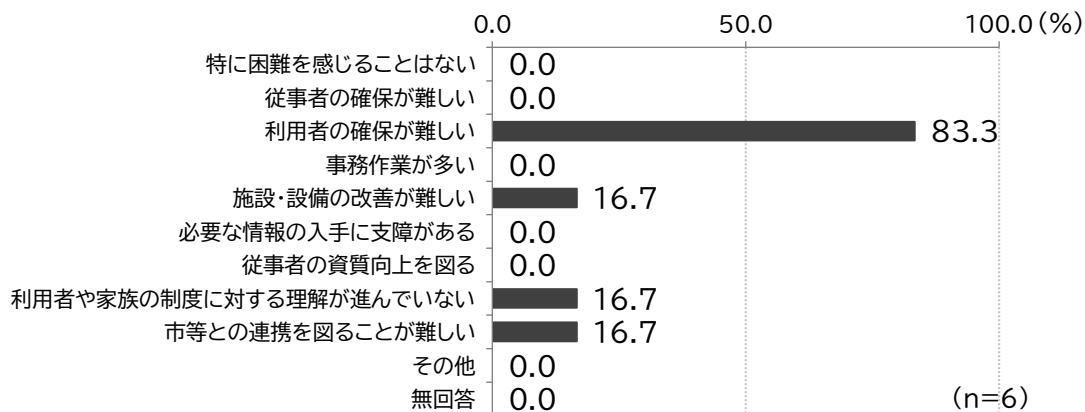
#### 4. 訪問看護



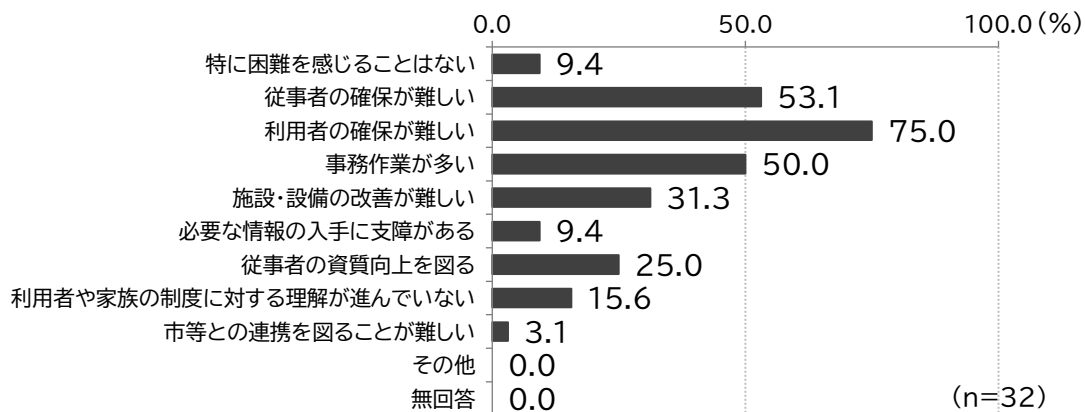
#### 5. 訪問リハビリテーション



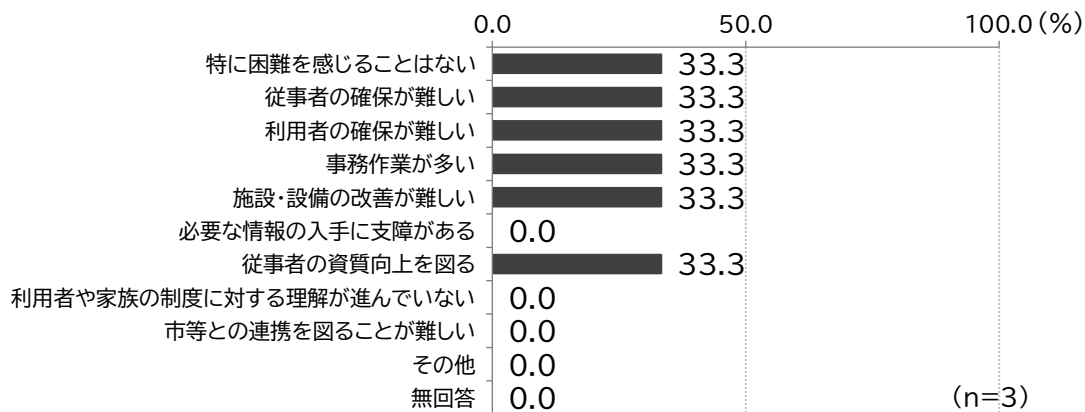
#### 6. おでかけデイサービス



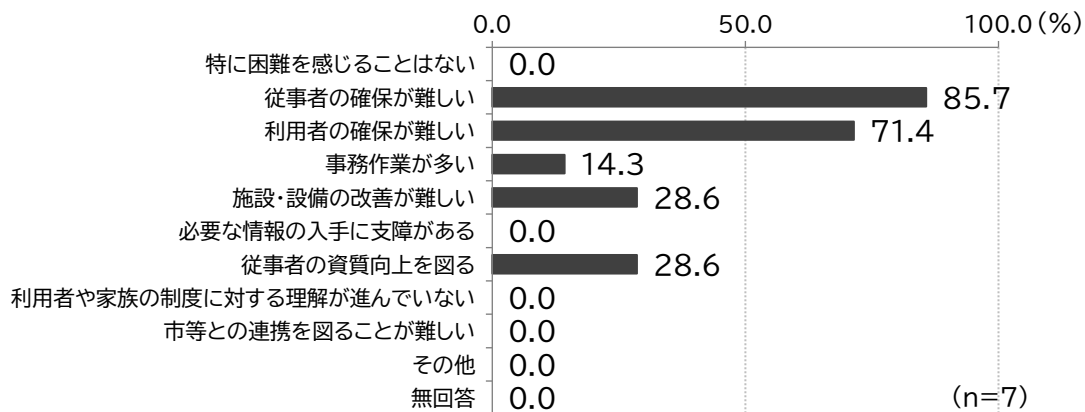
## 7. 通所介護・地域密着型通所介護



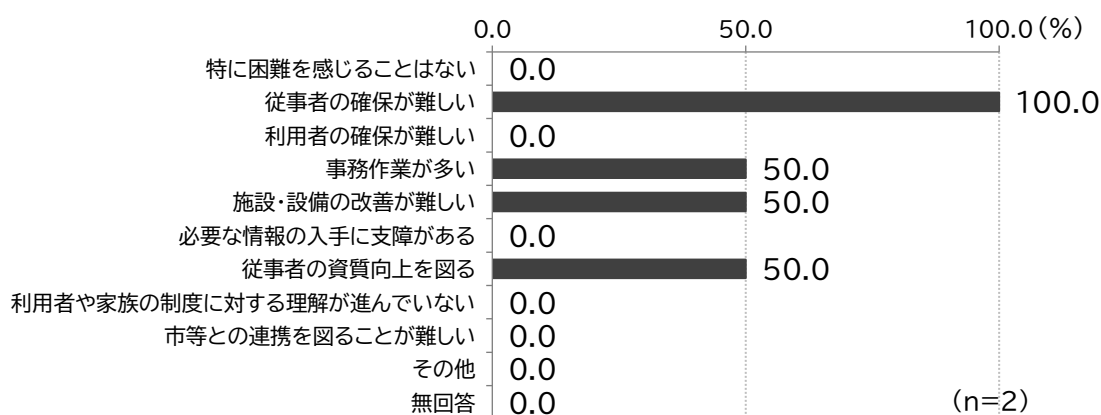
## 8. 通所リハビリテーション



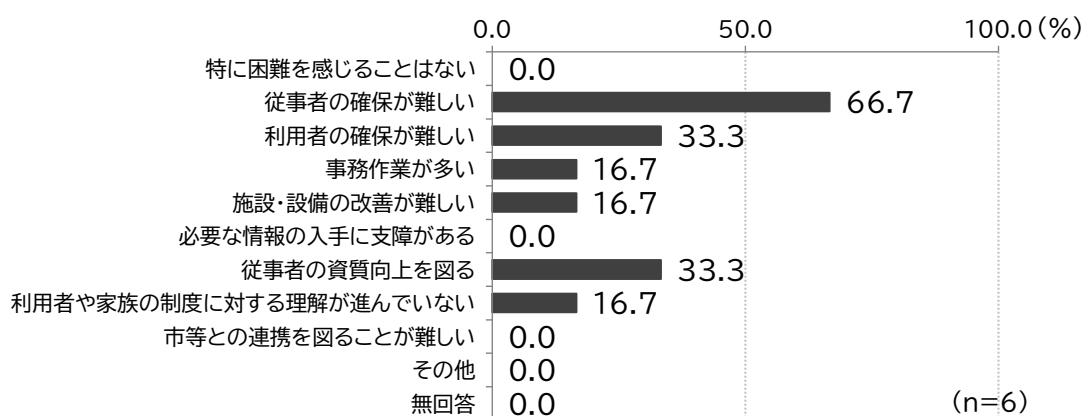
## 9. 短期入所生活介護



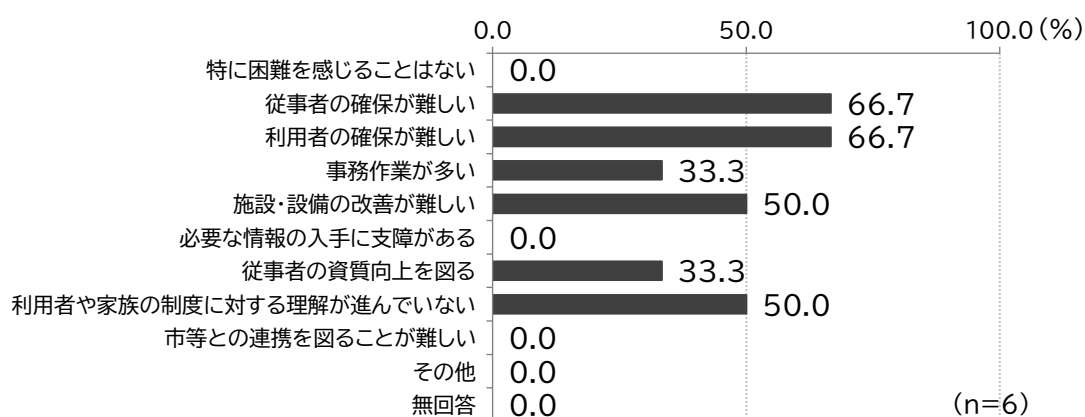
## 10. 短期入所療養介護.



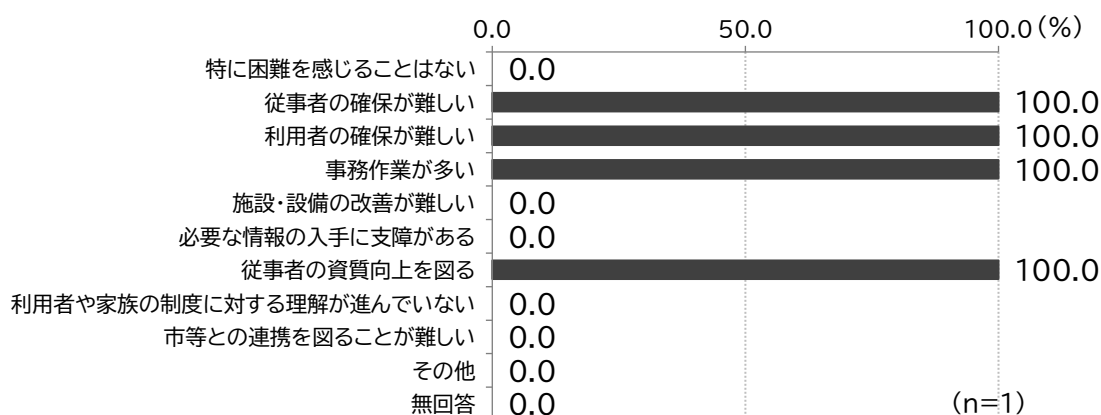
## 11. 特定施設入居者生活介護.



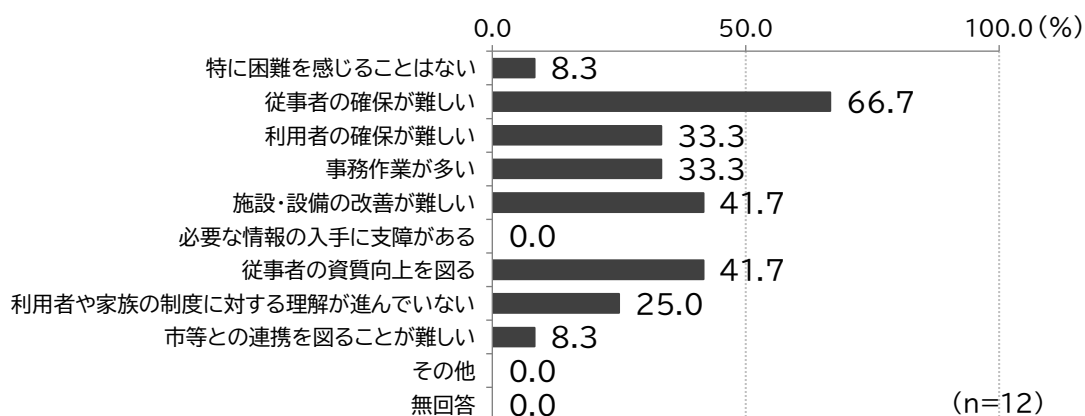
## 12. 小規模多機能型居宅介護.



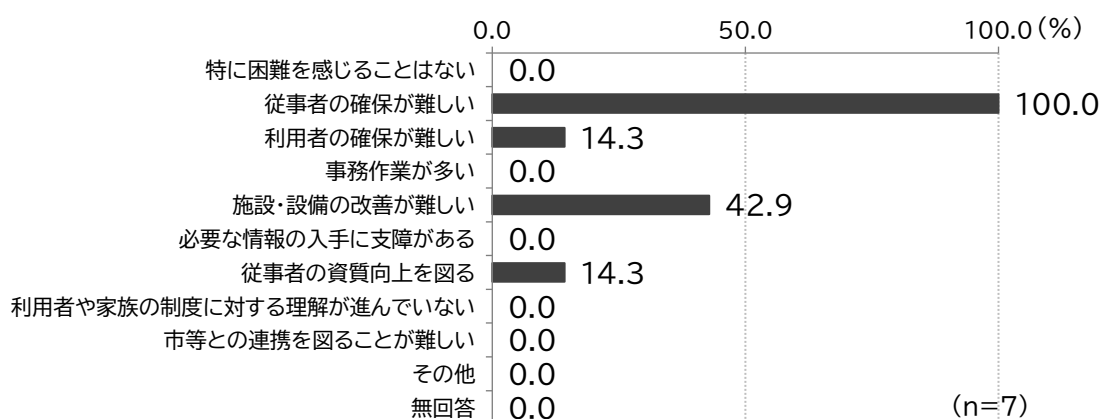
### 13. 認知症対応型通所介護



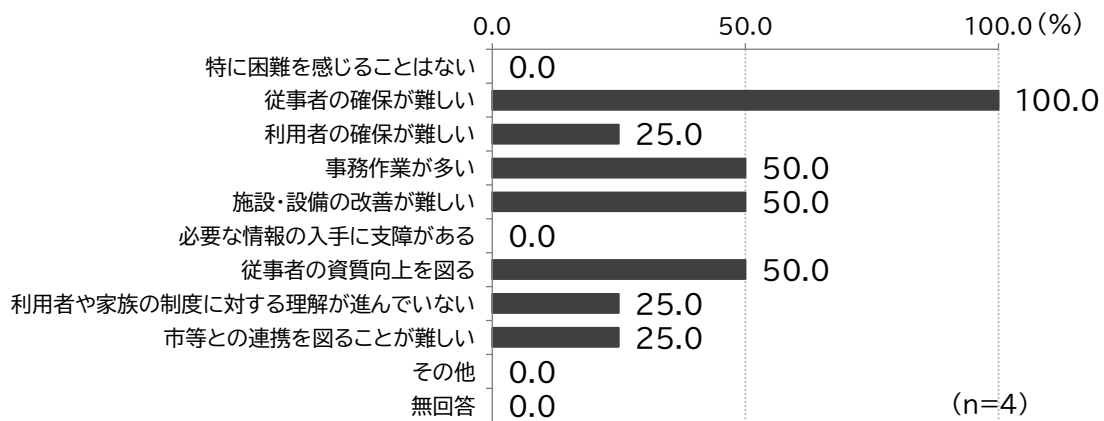
### 14. 認知症対応型共同生活介護



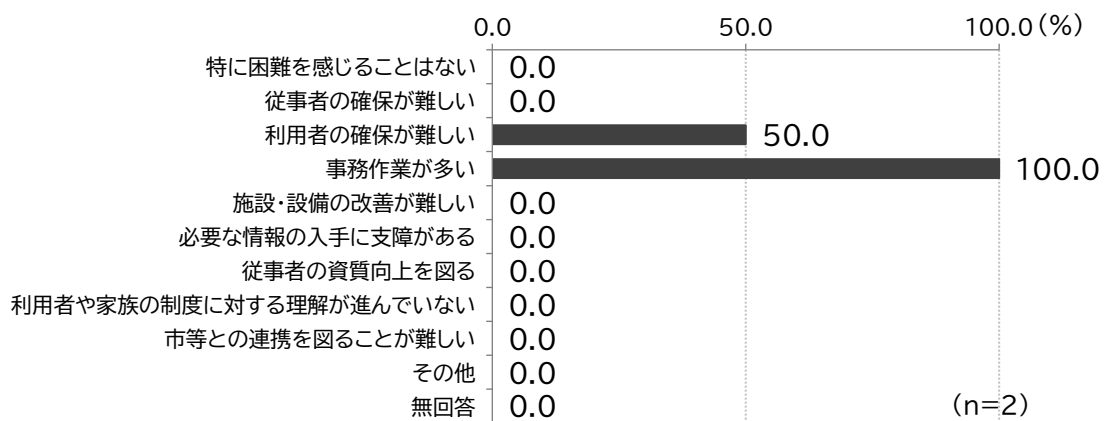
### 15. 介護老人福祉施設



## 16. 介護老人保健施設



## 17. 福祉用具貸与・販売



## 新規参入・拡充・縮小を予定している施設

---

新規参入、拡充、縮小を予定している施設のうち、新規参入は5施設、拡充は4施設、縮小は2施設あります。

---

### 【新規参入】

| 事業名          | 施設数 |
|--------------|-----|
| 訪問介護         | 1   |
| 小規模多機能型居宅介護  | 1   |
| 認知症対応型共同生活介護 | 1   |
| 福祉用具貸与・販売    | 1   |
| 介護タクシー       | 1   |
| 合計           | 5   |

### 【拡充】

| 事業名         | 施設数 |
|-------------|-----|
| 居宅介護支援      | 2   |
| 通所介護        | 1   |
| 通所リハビリテーション | 1   |
| 合計          | 4   |

### 【縮小】

| 事業名        | 施設数 |
|------------|-----|
| 居宅介護支援     | 1   |
| おでかけデイサービス | 1   |
| 合計         | 2   |

## 不足している専門職員

不足人数で見ると、「ホームヘルパー」と「介護福祉士」がそれぞれ 71 人で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が 18 人、「社会福祉士」が 2 人となっています。

施設数で見ると、「介護福祉士」が 27 施設で最も多く、次いで「ホームヘルパー」で 20 施設、「ケアマネジャー」が 14 施設、「社会福祉士」が 2 施設となっています。

### 1. ケアマネジャー

|           |  |
|-----------|--|
| 不足人数／施設数  | 18 人（14 施設）  |
| かかえる主な問題等 | <ul style="list-style-type: none"><li>・職員の高齢化</li><li>・現状一人ケアマネ。サポートが必要。</li><li>・交代の介護支援専門員の確保が困難。ご利用者ご家族より休日や夜間の訪問依頼があり、対応に苦慮し、職員の休日確保が難しい。予防計画の目標が半年ごとに見直しとなり、ご本人と相談するが、なかなか決まらず時間を費やす。</li></ul> |

### 2. ホームヘルパー

|          |  |
|----------|--|
| 不足人数／施設数 | 71 人（20 施設）  |
| かかえる問題等  | <ul style="list-style-type: none"><li>・募集をしているが応募者がいない</li><li>・ご利用を希望される時間帯、曜日に対応しているため、サービス提供責任者がヘルパー業務に費やす時間が多くなっている。週休 2 日の休日を取りにくい状況になっている。</li><li>・当事業所は 60 歳以上の非常勤ヘルパーです。定年制の延長により、ヘルパーの高齢化が問題となっています。60 歳以上の資格取得への支援を検討いただき、ヘルパーの確保につながるようお願いしたいです。</li><li>・人員不足を派遣に頼らざるを得ない</li></ul> |

### 3. 介護福祉士

|          |   |
|----------|---|
| 不足人数／施設数 | 71 人（27 施設）   |
| かかえる問題等  | <ul style="list-style-type: none"><li>・生活相談員の世代交代としての人員がいない。</li><li>・働き方によって人数は足りていても、休みや希望の時間帯が合わない等、サービス提供（シフトの組み）が難しいことがある</li><li>・常勤職員の確保が困難で負担が大きくなっている。</li><li>・産休、休職中の職員の補充が難しい</li></ul> |

### 4. 社会福祉士

|          |  |
|----------|--|
| 不足人数／施設数 | 2 人（2 施設）  |
| かかえる問題等  | <ul style="list-style-type: none"><li>・生活相談員の世代交代としての人員がいない。</li></ul> |

### 5. その他(ドライバー、看護師、住環境コーディネーター)

|          |  |
|----------|--|
| 不足人数／施設数 | 7 人（7 施設）  |
| かかえる問題等  | <ul style="list-style-type: none"><li>・時短職員が多く、送迎の人員が不足している。</li><li>・現在勤務している看護職員がわずかばかりの人数でして、1 人体調不良になるとかなり人員がいないことです。</li><li>・住宅改修理由書を現状書ける職員が少ないため</li></ul> |